

商店街活性化事業計画の概要

地域

東京都台東区

認定日

平成22年2月5日

事業名: 浅草仲見世商店街日除け・雨除け及び省エネ照明器具に交換して人に優しい参道造りの活性化事業

事業者名: 仲見世商店街振興組合(東京都台東区)

事業実施期間 平成22年6月～平成25年12月

商店街活性化事業の概要

雨天時の快適さや高齢者に優しい空間作り、歴史・文化の継承等のニーズに基づき、景観、地域住民、参拝者、観光客に配慮した可動式のアーケードを設置すると共に、新たにお休み処設置イベント、写真撮影サービスイベント、七夕お願いイベント、夜間の仲見世ストリートパフォーマンスイベントを実施して、人に優しい参道による活性化を目指す。

商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

地域住民・来街者へのアンケートでは、傘をささずに快適に買い物をしたい、座る場所が無いので休憩所を設置して欲しいとの要望が多く寄せられた。また、仲見世商店街が取り組むべきテーマとして、歴史・文化の継承、高齢者対策、仲見世のイベント、営業時間帯、環境・省エネとの意見が多かった。

実施計画の主な内容

・イベントの実施

「お休み処設置イベント」では、イベント期間中、定休店舗の前にベンチを置いて飲み物をサービスし、自由に休憩していただく。

浅草の神輿半纏を着て神輿の前で写真撮影を行い、三社祭の雰囲気を楽しんでもらう「写真撮影サービスイベント」、短冊に七夕の願い事を記入し風船に付けて飛ばす「七夕お願いイベント」を実施し、来街者に季節の行事を楽しんでいただく。

夜間の商店街内でパントマイム・大道芸などを行う「夜間の仲見世ストリートパフォーマンスイベント」を開催し、イベント期間中は各個店の営業時間を21時まで延長することを目指す。

・可動式アーケードの設置

仲見世商店街の雷門から宝蔵門まで全長約230mのアーケードを設置する。景観に配慮するため可動式とし、必要な時以外は浅草寺の本堂が見渡せるようにアーケードを開放し、雨天等の時にはアーケードを閉めて快適な買い物空間を確保する。

・看板照明器具等を省エネ型器具へ交換し、環境・省エネに配慮した商店街を目指す。

商店街活性化事業計画の目標

- ・来街者数 平成21年度 年間2000万人 → 平成25年度 年間2200万人へ10%増加。
- ・平均売上げ 平成21年度 月間35000万円 → 平成25年度 月間38500万円へ10%増加。
- ・雨天時の売上げ 平成21年度 1日840万円 → 平成25年度 1日1000万円へ20%増加。
- ・電気代 平成21年度 年間460万円 → 平成25年度 年間230万円へ50%削減。

【商店街の様子】



【三社祭の様子】



【浅草仲見世シャッター壁画】

